

健保連

かながわ

第336号
令和8年1月



あけましておめでたのびわいまます。



健保連神奈川連合会
会長 篠原 正泰

新年のご挨拶

皆さんいかがお過ごしでしょうか。歳ごとに新年への新鮮な気持ちは薄れがちですが、新刊本の1ページ目をめくるわくわくするような気持ちを、新年という時のペジに対しても持ち続けたいと思っています。

昨年は健保史上初の保証廃止となり、健保連神奈川の皆さまには大変なご苦労をおかけしました。連合会の活動も部会活動も、惜しみないご協力を賜り誠にありがとうございました。

皆さまいかがお過ごしで

しょうか。

今年はまたの事がありました。印象に残っている事の一つが「健保連からの提言」だったと思っています。国民に対して「3つのお願ひ」を打ち出しました。

①医療費の仕組み・国民皆保険制度の厳しい状況を知つてほしい、②健康を守る意識を持ち健診を確實に受けてもらいたい、③意識調査を行つています。自分で手当する、の3つです。健保連もこれへの国民意識調査を行つていますが、神奈川連合会としても何か具体的な行動を、と思つていました。

社保審の医療保険部会でも、文科省と連携した改革項目として「ヘルスリテラシーの促進」を挙げてきているところであり、「健保制度を知つてもらう」点では「若いうちにしっかりと教組合同士で議論もされてきておりました。

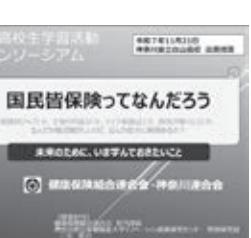
にも、深い敬意を表する次第です。昨年はあまたの事がありました。印象に残っている事の一つが「健保連からの提言」だったと思っています。国民に対して「3つのお願ひ」を打ち出しました。

①医療費の仕組み・国民皆保険制度の厳しい状況を知つてほしい、②健康を守る意識を持ち健診を確實に受けてもらいたい、③意識調査を行つています。自分で手当する、の3つです。健保連もこれへの国民意識調査を行つていますが、神奈川連合会としても何か具体的な行動を、と思つていました。

健保連・三宅さんが神奈川県立大学にみえられ、「3つのお願ひ」を対外的に見えた形で動きたいと話したとき、「神奈川県立高校では外部の『出張授業』を受け入れている」という話がありました。それでは!と



▲授業風景



►教科書

神奈川県立白山高校で 健保の出前授業!!

11月21日（金）神奈川県立

白山高校で健保の出前授業を行いました。これは、神奈川県教育委員会との協定のもと、先生方の要請にもとづき



▲県立白山高校

現業に多忙な日々を送り、時間的にやれることも限られていますが、保険者の周辺領域に目を向け、少し長い目で先を見たときに、「3つのお願ひ」のみならず「4つの約束」「5つのチャレンジ」などへ開できるアクションが、意外に転がっているのかも知れません。

れません。

1年の計は元旦にありと

全な切替えまでずっと続く

言います。目の前には高齢者医療制度・高額療養費・出産の保険適用・OTC類

帆を高くあげて、2026年も元気も笑顔も一杯に、健保連神奈川丸をこぎ出し

りました。それでは!と報酬改定など考えるだけで頭の痛い「積み荷」がありますし、資格確認書も完

り上げます。



特集 持続可能な制度へ、今こそ抜本改革を

健康保険組合連合会は10月22日、東京国際フォーラムで令和7年度健康保険組合全国大会を開催しました。テーマは「皆保険存続の危機！持続可能な制度のために今こそ抜本改革を－現役世代を守れ、2025年問題は終わっていない－」であり、全国の健保組合関係者約3,000名が来場し、WEB配信で約2,000名が視聴しました。

黒字見込みも、構造的な問題は残されたまま

基調演説を行った宮永俊一会長は国内の社会・経済状況や国際情勢、さらには前日に発足した高市政権にも触れた後、健保組合財政に話を移し、「大変厳しい状況が続いています。令和6年度の健保組合の決算見込みは145億円とわずかに黒字になりましたが、全体の賃上げや保険料率の引き上げにより黒字を確保できたにすぎず、依然として約半数の660組合が経常赤字に苦しむ状況です。賃上げに基づいて保険料収入が伸びたにも関わらず、高齢者医療への拠出金がそれを上回つて過去最高額となり、保険料率の引き上げがなければ赤字に転落する構造的な問題は残されたままです」と述べました。

改革断行の決意と新提言の趣旨を踏まえたスローガン

- 現役世代の負担軽減と全世代で支える持続可能な制度の実現
- 保険給付の適正化・重点化と負担の公平性確保

宮永会長は高齢化に伴い医療費が増

決議の実現を強く要請し、議員などへの要請行動も

以上のスローガンを含む決議文案が、大会決議として満場一致で採択されました。この決議を宮永会長が翼慎一厚生労働省大臣官房審議官に手交し、実現を強く要請しました。

議事終了後に、特別企画として「全世代型社会保障制度への改革と保険者への期待」をテーマとした講演と対談があり、閉会後、参加者は大会決議をもって主要政党役員、地元選出国会議員、関係各方面への要請行動に移りました。

ルフレメディケーションの取り組みを推進するほか、適正化に資する保険給付範囲の見直しや経済性も考慮した薬剤使用の最適化など、「給付と負担の見直し」を行うべき。

- 安全・安心で効果的・効率的な医療提供体制の構築と医療DXの推進
- 加入者の健康を支える健保組合の保健事業の充実・拡充

これからも今までの保健事業の取り組みを確実に継続し拡充とともに、人口構造の変化や働き方の多様化など、社会情勢の変化に応じて加入者のために保険者機能を發揮していく。

加する一方で、医療費を負担する現役世代が減少している現状を指摘したうえで、大会テーマについて「このままでは早晚、医療保険制度は限界を迎えてしまふのではないかと強い危機感を抱いています。健保組合の解散が相次げば国民皆保険制度の根幹を搖るがす事態にもなりかねません」との厳しい状況認識によるものと話しました。さらに「今こそ現行制度のあり方を抜本的に見直して、国民が将来にわたって安心できる制度改革を断行しなければいけません」との決意と新提言（「ポスト2025」健康保険組合の提言）の趣旨を踏まえ、4つのスローガンを解説しました。

● 現役世代の負担軽減と全世代で支える持続可能な制度の実現

全世代で支える改革の実現には、加入者・国民の理解と協力が不可欠であり、私たち自身が発信力強化に取り組んでいく。

自分の健康を守ることから始まるセ

「未病」の効果を医療費の再配分へ



未病対策は健保組合の取り組みや 健康経営にもつながる

「秋の講演会」が10月3日、ホテルプラムで開催され、神奈川県立保健福祉大学理事長の大谷泰夫氏に、「『未病』という新しい健康観を健康保険組合や企業の保健事業発展に活かす道筋」をテーマとしてご講演いただきました。会場で60名以上、WEBを含め180名以上が参加され、WEBでは北海道から沖縄県まで全国11道県の連合会関係者が視聴されました。

国民皆保険制度は日本の素晴らしい成果であり奇跡で、今後も持ちこたえなければいけませんが、制度を取り巻く環境は大変厳しくなっています。

こうしたなかで、健康観からもう一度作り直してはどうでしょう？ 食べたいだけ食べてゴロゴロして、調子が悪くなればお医者さんに行く…本来、そうした場合に皆のお金を使うべきですか？ 医療費を本当に必要なところに使おうという思いがあれば、違う行動になるでしょう、ということで注目されているのが「未病」という健康観です。

従来は人の健康状態を健康と病気の2つに分け、病気にならないよう予防してきました。「予防」の典型イメージは感染症です。これに対して、「未病」の典型イメージは生活習慣病です。40歳、50歳となると多くの人はどこか悪くなつて、健康と病気がグラデーションのように交錯した状態になります。これが「未病」です。感染症は医療が取り組む大きなテーマになりましたが、むしろ年齢とともに誰もがなりうる生活習慣病こそが、未病の主戦場です。予防は病気にかかる時点終了ですが、未病は発症前、発症中、発症後も継続するのが特徴です。未病のうちに手を打てば、維持・改善が可能になります。治療と医薬による対処ではなく、「食」「運動」「社会参加」の3つの取り組みで、生活指導を基軸に状態の改善を図るのです。健診結果が悪くならないように生活習慣を改善するなど、未病対策は健保組合の取り組みと重なり、心も体も健康でいられる



▲大谷泰夫氏

仕事環境を作るといった面では、健康経営にもつながります。

病気に対する「治す」ですが、未病に対する「維持」「改善」、さらに言えば「未病コンディショニング（調整する）」という考え方こそ、一番適切な表現かもしれません。健康状態は加齢とともに自然に低下します。やや低下した時点で気づいても、不適切な生活習慣を続けていれば、健康状態は自然な状態以上に急速に低下します。これに対しても、気づいた時点で未病対策を取り入れれば、健康状態の低下を自然な低下より緩やかにでき、不適切な生活習慣を続けた場合と比べて、大きく改善することが可能です。

未病に直結する 「ポスト2025」の提言

未病対策の効果を得るには、まず健康知識を身につけて今の健康状態に気づき、行動変容につなげ、それを持続することが必要です。持続には「楽しい」「おいしい」「廉価」といった要素が重要であり、公的医療保険外で未病対策をサポートする民間ビジネスのポイントになります。医療と医学を分け、医療は専門家にまかせ、医学に基づく根拠のあるさまざまなビジネスを大いにやるべきです。

「ポスト2025」健康保険組合の提言」は、「自分自身で健康を守る意識をもつてください」などの「3つのお願い」や「5つのチャレンジ」などで構成されていますが、相当なところが今日の未病の話に直結しています。未病で医療費が劇的に下がるとは言いません。ただ、医療にどのようにお金を使うのか、自分で防げるところに皆の公費を使うのか、そうではなく、自分で防ぎきれないレベルのところに医療費を再配分する、という意味で未病は効果があるのです。

「人生100年時代」に ふと思う



労働者健康安全機構健康保険組合
常務理事
小森 則行

「人生100年時代」という言葉、2017年に当時の安倍総理を議長とした「人生100年時代構想会議」が発足され、国政の場に登場したことを契機に、日常において目に耳にしてきました（元はリンダ・グラットンとアンドリュー・スコットが「LIFE SHIFT 100年時代の人生戦略」の著書の中で提唱した言葉）。

そもそも「人生100年時代」とは？ですが、平均寿命や健康寿命の伸びにより、100歳まで生きることが今後、当たり前となる時代が来るとの考え方から、従来の「教育、仕事、老後」といった画一的な人生設計ではなく、学び直しやキャリアチェンジ、長期的な健康管理など、生涯にわたる多様な生き方を考え直す必要があるという概念のことです。

ところで、日本人の100歳以上の人数はどれだけいるのでしょうか。厚生労働省の調査（2025年9月1日時点）によると、99,763人（男：11,979人、女：87,784人）、これは調査開始時（1963年）の153人と比較すると、とてつもない増加人数です。この増加の要因としては、生活環境、食事情、医療の発展などの影響が考えられますが、国民皆保険制度の役割が大きく貢献してきたことは言うまでもありません。



▲皇居周辺等を走っていたころのロードバイク……

100歳まで生きる人の特徴として、健康的な生活習慣、ポジティブな性格、社会とのつながり、生活にルーティンがあることなどが挙げられており、これらの特徴は、遺伝的な要素に加えて、後天的な生活習慣や精神状態が大きく影響していると考えられています。

さすがに100歳まで生きるのは無理だろうと諦めがちですが、予測では今後、100歳以上の人口は、2050年には約68万人（複数の推計値あり）に達するとされており、数字だけ見ると「あわよくば…」の思いが頭をよぎり、淡い希望もわいてきます。健康で長寿であることは、時代背景や取り巻く環境などが影響するのももちろんのですが、それ以前に「自身の日常における健康への意識と取り組みが肝心」と気付かされる場面が、年齢を増すと共に多くなったと感じます。

では「現在、何か取り組んでいるか？」と問われれば、健保組合の組織に身を置きながら答えに詰まってしまい、全くもって面白無い有様なのですが、コロナ禍の時に人との接触を避け健康にも役立つの考え方から、ウォーキングやサイクリングを行ったことがあります。近所の公園や川沿いなどを散策しながら、普段、何気なく見過ごしているものに気付くことができ、またウォーキングから自転車（ロードバイク）に手段を変えて神宮外苑や皇居の周辺、荒川や多摩川の土手などを走り、おかげで自身のシェイプアップとストレス解消が図られ、それなりに有意義で健康的な時を過ごしていました。

ところがと言うか、やっぱりと言うか、一つの事を長く続けることが苦手な性格が災いし、膝の痛みを言い訳にして、ここ2年間程は自転車から遠ざかり、当然のごとく身体も元に戻ってしまい、今更ながら後悔しています。

最後に「人生100年時代」に対応するために、そしてハレー彗星を一生に一度と思いながら天体望遠鏡を覗いた40年前（1986年4月）の自分（22歳）に、一生に二度を実現（2061年7月）させるためにも、これまでの後悔と淡い希望を糧に、健康への意識と取り組みを継続的に実行することを決意して、拙い文章で恐縮ですが失礼いたします。

あなたのカラダ年齢は何歳？

「全国カラダ年齢測定体験会」 を開催

健保連・神奈川連合会では、「全国カラダ年齢測定体験会」を3部会との共催で開催しました。この体験会は、昨年度から都道府県連合会ごとに行っており、神奈川連合会では10月7日みと部会(TIPNESS横浜)、10月30日湘南部会(スポーツクラブNAS平塚)、12月2日川崎部会(ルネサンス武蔵小杉24)でそれぞれ開催しています。どの会場も、参加されたみなさんの笑顔で大いに盛り上りました。



▲体力測定実施の意義を説明する健保連本部・小松原参事



▲「全国カラダ年齢測定」の説明、導入事例、プロモーションについて話すFIA松村氏

「全国カラダ年齢測定」とは？

国が実施している「新体力テスト」に準拠した体力測定です。5段階評価で体力年齢を算出し、全国の参加者との比較によるランキングを集計します。ご自身の体力を自覚し、運動機能向上に向けた行動につなげ

る狙いです。また、全国100社のFIA*加盟フィットネスクラブで提供できる体制を目指しています。

*一般社団法人日本フィットネス産業協会



メリット1

- ★ スマホアプリからその場で判定結果を確認可能
- ★ 測定項目・データフォーマットが統一
- ★ 過去の推移・全国データとの比較が可能

データに基づいた健康づくり事業や保健指導に活用できる！

メリット2

- ★ 健康経営・労働安全衛生など企業での活用も
- ★ 口コモ対策だけでなくメタボ予防にも有効

コラボヘルスのツールとして展開できる！

メリット3

- ★ 既存のフィットネスクラブとの契約を活用できる

無駄なコストを抑えられる！

- 今回の体験会は、保健事業担当者や常務理事・事務長の方々に口コモ対策の一環としてご参加いただき、今後の保健事業への活用や事業主へのプロモー

トを検討いただくためのものです。来年度はこの体験会を踏まえて、健保連本部の方針に沿った次なる展開の検討へと進めてまいります。

そこが聞きたい
保健事業

組合訪ねある記

オカムラグループ 健康保険組合

充実したコラボヘルスで、 多角的に健康づくりを推進

▶健保組合が所在する横浜天理ビル。横浜駅に地下街で直結。



▲健保組合のみなさん。右から吉岡事務長、沖常務理事、高橋職員



▲国産初のFF・オートマチック自動車「ミカサ」。

「人が生きる社会の実現」を
バーバスとしたものづくり企業

聞き手 ● 堀田・川崎（広報委員）

状況により飛行機の製造を中断され、職を失った日本飛行機(株)の技術者たちが中心となり、互いに資金や技術、労働力を提供して協力し合う「協同の工業」を創業の精神に、起業の地である磯子区岡村町から岡村製作所と命名されました。この地は現在、フォーケデュオ「ゆづ」の出身校・岡村中学校の敷地に当たります。

創業時は物資不足の時代であつたた
横浜に産声を上げました。当時、戦後の
オカムラは、戦後間もない昭和20年、

め、鍋やフライパンなどの生活用品を生産していました。その後、スチール製の家具や厨房器具などの生産を開始し、これが現在のオフィス家具製造の原点となっています。

一方「動く製品」の開発にも着手し、国内初のトルクコンバータを完成させ、昭和26年に生産を開始。航空機の製造が解禁になると、昭和28年に戦後初の国産

飛行機「N-52」を誕生させました。さらに昭和30年には、このトルクコンバータを搭載した国産初のFF・オートマチック自動車「ミカサ」を世に送り出します。残念ながら飛行機、自動車事業からは撤退しましたが、こうした「ものづくり」への情熱は、オカムラのDNAに受け継がれ、オフィスや各種施設における製品とサービスを提供するオフィス環境事業、店舗をトータルでサポートする商環境事業、新しい物流システム機器の開発や提案を行う物流システム事業、トルクコンバータ等を開発・製造するパワートレーン事業などで、「人が生きる社会の実現」に貢献することを目指す原動力となっています。

オカムラグループ健康保険組合は昭和

42年、横浜に設立されました。その後、都内へ移転していた時期を経て、令和6年に再び横浜へ戻り今日に至ります。現在、(株)オカムラをはじめ加入事業所数13、被保険者数5,893人、被扶養者数3,687人、健康保険料率80・36%、健保組合スタッフは理事長を含めて6人です。



▲健保組合事務所。沖常務理事(右)の机と同じく、スタッフ全員の机にオカムラの電動昇降デスク「Swift」を使用。天板の昇降により、座り過ぎによる健康リスク防止のほか、一人ひとりの体格や作業に合わせて調整可能など、オカムラならではのオフィスです。

看護職の協力により、工場での特定保健指導実施率100%

被保険者には事業主が行う定期健診を、40歳以上の任継者と被扶養者には特定健診を実施しています。これらに加えて35歳以上の被保険者は、人間ドックとして年間5万円を上限に、任継者と被扶養者は同じく35歳以上を対象に、特定健診を含めて上限5万円（人間ドック補助分は1万円）を、それぞれ脳ドックなど個人体況に合ったオプション検査に使うことができます。

令和6年度の特定保健指導は、40歳以上の被保険者全体で約74%の実施率でした。

工場では看護職にスケジュール管理をしていただき、初回面談は工場内で行うこと、実施率はほぼ100%です。また、40歳未満の若年層保健指導は血糖値の基準で振り分けており、HbA1cが5・6～6・2に該当し、BMI25以上の人は遺伝子検査キットを使用した指導を、25未満の人には血糖値の状況を確認することで気づきを促しています。

重症化予防についても血糖値基準で振り分け、HbA1cが6・3～9・0を軽・中度、9・1以上を重度に区分し、高い人を中心に指導しています。近年ではリピーターが増えているため、血糖値基準のみによる判定の是非が検討課題です。

健診結果は健診機関から事業主経由で把握し、分析ツールを使って全体傾向などを事業主にフィードバックしています。健診内容についても、看護職と年に

数回打ち合わせを行い、骨密度検査の実施頻度や肝炎検査の対象など、翌年の実施内容を検討し、毎年変更しています。こうした地道な取り組みの成果か、ここ数年医療費の減少傾向が見られるようになり、手ごたえを感じつあるところであります。

ホームページ、オンラインセミナーと、多様な媒体で健康にアプローチ

健保組合からのお知らせは昨年、ホー

ムページとイントラに集約したこと、業務のペーパーレス化と効率化を促進しました。ホームページ上の健康マイボ

タルより、健診結果や医療費通知の照会、補助金申請などもできるようになり、加入者の利便性が向上しています。

令和5年からは、健保組合の新しい取

り組みとしてカフェテリアプランを導入しました。健康維持・増進を目的として、被保険者の健康ニーズに合った物品やサ

ービスを利用してもらっています。

メンタルヘルスに関しては、外部に委託し、電話、チャット、面談による相談を実施していますが、近年は少し相談が増えていますが、近年は少し相談が

平成29年に、母体が「オカムラ健康経営宣言」を発出したことで、オカムラグループと健保組合では、前述の健診結果などの情報共有・活用によるコラボヘルスの実現はもちろん、各健康増進活動のさらなる強化で、「人が生きる社会の実現」に向け、健保組合のペーパスを推進しています。

健康への意識付けには、健康スマホアプリを導入しています。アプリ内でウォーキングイベント等を実施し、それに参加することでポイントがたまる方式で、飽きずにモチベーションを維持してもらう狙いです。また加入事業所とのコラボヘルス事業として、健康セミナーを開催し、今までに空手家・俳優の角田信朗氏、筋肉体操で知られる谷本道哉氏、管理栄士の浅野まみこ氏などに講演をいたしました。さらに体験型の健康イベントを東京都内の大型スポーツ施設で開催し、オカムラの社員であるパリ2024パラリンピック競技大会日本代表の七野一輝選手に、アスリートの健康づくりについて話してもらうなど健康啓発活動にも力を入れています。

平成29年に、母体が「オカムラ健康経営宣言」を発出したことで、オカムラグループと健保組合では、前述の健診結果などの情報共有・活用によるコラボヘルスの実現はもちろん、各健康増進活動のさらなる強化で、「人が生きる社会の実現」に向け、健保組合のペーパスを推進しています。

健保組合が、健康経営を推進している母体の人事部人事グループをはじめ、加入事業所との連携でそのメリットを最大限に活かし、充実したコラボヘルスで健康づくりを進められている点が印象に残りました。

神奈川連合会日誌

当連合会の令和7年7月から11月にかけての行事は、新任事務長講習会、適用・給付業務講習会、健康経営シンポジウムの各講習会と、柔整等療養費勉強会、保健事業勉強会、専門職のための勉強会の各勉強会を開催した。
その他、各委員会の開催、常任理事会、秋の講演会を開催した。
なお、「秋の講演会」については、神奈川県立保健福祉大学理事長・大谷泰夫氏をお招きし、「『未病』という新しい健康観を健康保険組合や企業の保健事業発展に活かす道筋」をテーマにご講演いただいた。

● 常任理事会	9月9日（火）	連合会事務所
● 監事會	11月11日（火）	連合会事務所
● 広報委員会	7月17日（木）	連合会事務所
● 組合業務推進委員会	9月26日（金）	連合会事務所（神奈川県柔整師会と意見交換）
● 医療費対策委員会	10月4日（火）	すべて連合会事務所
● 新任事務長講習会	7月22日（火） (編)	神電けんぽ会館（WEB併用）
連合会事務所	9月2日（火）	
神奈川中小企業センター	9月16日（火）	



▲10月21日 WG定例会

- 保健事業勉強会
9月29日（月）
神電けんぽ会館
- 秋の講演会
10月3日（金）

- 支払基金との事務連絡会
11月6日（木）

- 神奈川審査委員会事務局
専門職のための勉強会（働く女性の健康課題に対するセミナー）

- 適用・給付業務講習会
11月19日（水）
神電けんぽ会館

- ホテルプラム
11月21日（金）

● 健康開発事業委員会

- 健康開発事業委員会
8月28日（木）
すべて連合会事務所

- 健康経営シンポジウム
11月25日（火）
ホテルプラム（WEB併用）

- 健保連かながわ100キロウォーク
8月21日（木）
連合会事務所

● WG定例会

- WG定例会
10月21日（火）
連合会事務所

- 健保連かながわ100キロウォーク
7月・8月は熱中症事故予防のため中止

組合業務 相談室

- 取扱状況（7～11月：32件）
△適用関係……………5件
- △給付関係……………17件
- △経理関係……………2件
- △庶務関係……………6件
- ▽その他……………2件

専門医相談室 柔整等療養費 相談室

- 取扱状況（7～11月：3件）

- 相談予定日
随时受付



▲11月22日 健保連かながわ100キロウォーク



▲11月19日 専門職のための勉強会

- 相談予定日
随时受付

第三者行為 相談室

- 取扱状況（7～11月：16件）
△自賠責・任意保険……………4件
- △ひき逃げ・無免許・無保険（政府保障）……………1件
- △傷害事故（事件）……………1件
- △示談……………1件
- △請求関係……………1件
- △その他……………8件

柔整等療養費 相談室

- 取扱状況（7～11月：4件）

厚生労働大臣表彰受賞

(敬称略)

組合名	現職名	氏名
富士フィルムグループ健康保険組合	理事長付	篠原 正泰
首都圏デジタル産業健康保険組合	業務課給付審査係長	星川 寧子
日産自動車健康保険組合	事務職員	高橋 和代



篠原 正泰



星川 寧子



高橋 和代

令和7年度健康保険組合関係功労者の厚生労働大臣表彰式が、令和7年11月25日（火）厚生労働省（低層棟2階講堂）において開催され、神奈川連合会から上記の方が受賞されました。誠におめでとうございます。

令和8年元旦 神奈川連合会事務局

後列左から…石田課長、赤塚職員
前列左から…太田課長、堤事務局長、浅沼課長

謹賀新年

昨年は当連合会にひとかたならぬご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございました。本年はこの体制で、さらなるサービスの向上に努めます。



明けまして おめでとうございます

本年はメンバーも新たに、さらに読みやすく、皆さんに親しまれる会報をお届けいたします。

令和8年元旦 広報委員一同

後列左から：堀田委員、川崎委員、坂本委員
前列左から：重松委員、内藤委員長、長峰副委員長、竹中委員



編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年は神奈川連合会の事業運営にご支援、ご協力を賜りありがとうございました。年末年始の休暇を使ってリフレッシュされた方も多いと思います。一年の始まりを迎え、気持ちを新たに頑張っていきましょう！

さて昨年は、海外ではトランプ米大統領の2期目の政権がスタートしました。その目玉としての相互関税政策は、世界経済に多大な影響を及ぼしています。また、国内では憲政史上初の女性首相として、高市総理が誕生しました。荒波での厳しい船出の中、ベストな舵取りをされるよう、期待したいと思います。

今年はスポーツでは3月にワールドベースボールクラシック、6月にサッカーのワールドカップと楽しみが続きますが、我々に振り返ってみると、少子高齢化のもたらす諸課題や、マ>NNバーと保険証の一体化、さらには高齢者医療の負担の問題、高額療養費制度の在り方、出産に対する給付体系等々の医療保険制度改革に、引き続き向き合うこととなります。

本年も広報委員、神奈川連合会職員一同、より良い支援活動を目指してまいりますので、よろしくお願ひいたします。

発行 健康保険組合連合会神奈川連合会

（リスト閑内ビル）
電話 ○四五(61)七三七〇
FAX ○四五(66)三七六五
横浜市中区尾上町四ノ四七